

## 牛群検定の利活用などについて 解説記事を掲載しています

- 1 デーリイマン 3月号  
酪農を図で見る 酪農・乳業研究会  
進化する牛群検定～繁殖台帳Webシステム～
- 2 全酪新報3月1日号 全国酪農協会  
牛群検定ワンポイントレッスン その10 過肥と削瘦
- 3 農業共済新聞3月12日号 全国農業共済会  
酪農「繁殖台帳Webシステム」を活用 島根県川上哲也氏
- 4 LIAJニュースNo.144 平成26年1月号(家畜改良事業団)  
高校生が語る酪農の夢、そして牛群検定  
岡山県立高松農業高校畜産学科3年 砂田智子さん  
平成25年度第7回全農学生「酪農の夢」コンクール優秀賞に輝いた発表の全文を掲載。

牛群検定から考える乳用牛の育成方法(その2)  
千葉県農業共済組合連合会東部家畜診療所 次長 近藤寧子 獣医師  
育成期の飼養管理情報を集計し、その後の検定成績がどうであったかなどを分析

新しい検定成績表について(その30) ボディコンディションスコアの成績表示変更  
検定成績表のボディコンディションスコアの表示が変更になりますので、その概略を解説。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

## 平成25年度濃密研修会を開催しました。 ご希望の方に録画DVDを実費で提供します。

本年度濃密研修会を以下のとおり開催しました。お二人のご講演は牛群検定に携わる皆さまに聞いて頂きたい内容でした。ついては、テキストとDVDを実費1500円(税込み)で頒布しますのでご希望者はお申し込み下さい。ご連絡頂ければ申し込み用紙を送付します。  
連絡先：Eメール) [toiawase@liaj.or.jp](mailto:toiawase@liaj.or.jp) 電話) 03-5621-8921 F a x) 03-5621-8922

先進ツールを活用した酪農経営 約90分  
島根県出雲市 酪農家 川上哲也氏  
概略：繁殖台帳Webシステムを活用した繁殖改善などの実体験を交えて紹介しています

牛群検定成績を活用したハードヘルス 約120分  
酪農学園大学獣医学群ハードヘルス学 教授 中田健氏  
概略：牛群検定データの活用について、ハードヘルスという新しい獣医学の視点から解説



島根県酪農家 川上哲也氏



酪農学園大学教授 中田健氏

# みなさんの地区で活躍される優秀検定員が表彰を受けました。

乳用牛群検定の優秀検定員の表彰式が、2月20日の東京都を皮切りに、2月27日は福岡市、2月28日は札幌市の3会場で行われました。

これは乳用牛群検定全国協議会(鎌田壽彦会長)が平成元年から毎年行っているもので、長年にわたり第一線で牛群検定の普及推進に携わり貢献された検定員の方を、各都道府県の推薦により表彰しています。本年度の受賞者の方は次の26名の方々です。

受賞者のみなさまにお祝い申し上げるとともに、今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

(右:熊本県乳牛検定組合 上之菌孝子氏)



## 平成25年度 優秀検定委員受賞者名簿

ブロック	受賞者氏名	都道府県 又は 支庁	所属	ブロック	受賞者氏名	都道府県 又は 支庁	所属
北海道	飛田 康裕	上 川	美深町乳牛検定組合	関東	福田 弘美	栃木県	那珂川牛群検定組合
	高橋 司	後 志	ようてい乳牛検定組合	北陸	北 義裕	福井県	花咲ふくい農業協同組合
	島村 淳子	渡 島	八雲町乳牛検定組合	近畿	吉本 剛	滋賀県	滋賀県乳用牛群検定組合(西びわ湖農協)
	渡辺 初子	十 勝	本別町乳牛検定組合		入江 康彦	大阪府	大阪府総合畜産農業協同組合連合会
	沼田 つたえ	釧 路	摩周湖乳牛検定組合		奥野 善之	兵庫県	三原第2検定組合
	小椋 登	〃	浜中町乳牛検定組合	中四国	北 義裕	福井県	花咲ふくい農業協同組合
	新藤 良治	根 室	道東あさひ農業協同組合	茨木 仁史	広島県	広島県酪農業協同組合	
	城下 和恵	〃	中標津乳牛検定組合	九州	林 国男	福岡県	甘木朝倉地区乳用牛群改良検定組合
	中澤 誠一	網 走	湧別町乳牛検定組合		古庄 崇	熊本県	熊本県乳用牛群検定組合
	久保田 賢一	〃	オホーツクはまなす農業協同組合		上之菌 孝子	〃	熊本県乳用牛群検定組合
	佐野 甲奈	宗 谷	北宗谷農業協同組合		今井 光春	宮崎県	都城地区、北諸南那珂地区乳用牛群改良検定組合
伊藤 京子	岩手県	花平乳牛検定組合	實田 芳治		鹿児島県	鹿児島県乳用牛群検定組合(曾於地区)	
東北	高橋 将之	宮城県	仙北乳用牛群改良推進組合	(敬称略)			
	佐々木 司幸	〃	大崎石巻乳用牛群改良組合				

## 平成25年度後代検定調整交配(後期)が始まります！

平成25年度後代検定事業の候補種雄牛の調整交配(後期)が始まります。

調整交配は、乳用種雄牛の遺伝評価成績の元となる大事な交配です。雌牛が生まれた場合は、育成の段階で牛群検定に加入するようにお願いします。なお、今回の調整交配は、順調であれば平成30年ごろに選抜される乳用種雄牛の遺伝評価成績の元となります。

調整交配期間 後期 85頭 平成26年 4月～26年7月

- 1) 今回の調整交配では、調整交配精液を検定牛に交配することにより、雌牛1頭当たり1,000円の奨励金が支払われます。(高泌乳持続性乳用種雄牛利用促進事業)
- 2) 交配対象の検定牛の繁殖性データを収集し父牛の泌乳持続性との関連等を分析することを事業の目的としています。このため以下の条件を満たしていることが必要となります。
  - 条件1：交配した検定牛の血統が明確であること。
  - 条件2：授精開始から受胎(またはデータ集計時点)までの、全ての授精記録の報告があること。
  - 条件3：特に未経産牛への調整交配にあっては、**初回授精を行う前に対象の未経産牛が牛群検定に加入し、全ての授精の記録を牛群検定を通じて報告できる体制がとられていること。**(初回授精が調整交配でなくとも同様です)